

上毛町教育委員会より

研究発表会の開催

町内の小・中学校では、子どもたちに学力をはじめとした生きる力を育成するために、教員の指導力の向上を目指して各学校それぞれ研究主題を設定し、研究を深めています。

上毛町教育委員会では、その取組に対して各学校を4年に1回のサイクルで研究校として指定し、その研究の成果を広く町内外に公開しています。

今年の研究指定校は、上毛中学校と西吉富小学校です。上毛中学校は道徳科で10月28日(月)に、西吉富小学校は国語科で11月8日(金)に研究発表会を行いました。

また、南吉富小学校では県内全域からの参加を得て、福岡県小学校算数教育研究大会を11月15日(金)に行いました。

どの学校の研究発表会も、子どもたちの学ぶ力を伸ばす具体策を探る実践的研究であり、公開授業や協議会・講演会をとおりて教員の指導力の向上を図る有意義なものとなりました。



▲上毛中学校(参観者)



▲西吉富小学校



▲南吉富小学校

「上毛っ子」通学合宿を開催しました

11月20日(水)から23日(土)の3泊4日で通学合宿が開催され、各小学校から5年生33名が参加しました。

この事業は、家庭から離れて西友枝体験交流センター「ゆいきらら」に宿泊し、学校に通いながら、炊事・洗濯・掃除などを協力して行うことを通じ、自立心や協調性の気持ちを育むことを目的に毎年開催しています。

参加した子どもたちは、日頃、家庭でお父さんやお母さんがやっている仕事の大変さが分かったようでした。また、他校の児童と交流することで、たくさんの友だちができたようです。

22日(金)夜に行ったレクリエーションでは、木の大切さについて学び、その後間伐材(スギ)で本棚をつくる木工体験をしました。



新吉まつり実行委員会から 上毛町社会福祉協議会へ寄付

日立オートモティブシステムズ株式会社と日本プラス株式会社の社員の皆さんで構成する新吉まつり実行委員会の方々が、12月6日(金)に上毛町社会福祉協議会を訪問し、9月7日(土)に実施した新吉まつりの精算金の一部を、上毛町社会福祉協議会に寄付しました。

毎年、町の地域福祉活動に役立ててくださいと寄付をいただいております、今回30,495円の浄財が議員会長に手渡されました。



令和元年度上毛町人権講演会

12月8日(日)、人権週間の取組として、げんきの杜で上毛町人権講演会が開催されました。講師に、女性落語家の桂ばんば娘氏をお迎えし、「夢も子育てもあきらめない ～男性社会で生きていく～」と題して講演をいただきました。

数少ない上方女性落語家として、男性社会といわれる落語の世界で体験した「差別と区別」などについて、笑いも交えながら分かりやすく熱いメッセージを伝えてくれました。講演会後半に行った落語では、会場は終始笑いに包まれ、大変楽しく有意義な講演会となりました。

また、講演会に先立ち、小・中学生による人権ポスター・デザイン標語入選作品の表彰式が行われ、ロビーではその力作の数々の展示や、人権擁護委員及び人権教育研究協議会役員による啓発物品の配布も行われました。



義援金を災害被災地へ

令和元年度さわやか市大平で行われた新米フェアや秋の味覚まつりなどで、振舞鍋や富有柿、ポン菓子などの無料配布による募金活動を行い、合わせて43,097円が集まりました。皆様からの募金は、日赤令和元年台風19号災害義援金として大平郵便局より送付しました。



日本空手協会豊築支部 重吉諒二選手、吉元海人選手入賞

7月6日(土)から7日(日)にかけて、東京都武蔵野の森総合スポーツプラザにて第62回全国空手道選手権大会が開催され、豊築支部から出場した重吉諒二選手が都道府県男子団体組手の部で第3位に入賞しました。

また、11月10日(日)に直方市体育館にて第29回九州地区選抜空手道選手権大会が開催され、豊築支部から出場した吉元海人選手が高校生個人組手の部で優勝、重吉諒二選手が一般男子形・組手の部で第3位に入賞しました。



▲重吉諒二選手:右から2番目
吉元海人選手:左から2番目(後列)

第14回 上毛町 グラウンドゴルフ大会

11月16日(土)に、大池公園多目的運動広場で第14回上毛町グラウンドゴルフ大会が開催されました。町内から83名の参加があり、熱戦が繰り広げられました。成績は次のとおりです。

- 1位 飯田 豊子
- 2位 白田 一士
- 3位 飯田 武信



▲1位 飯田 豊子さん